参考資料 4

シミュレーションモデルの改善に関する参考資料

1. 60km 格子における計算結果を対象とした解析結果

1.1. はじめに

再現性向上作業を行ったうえで、2001~2010年の東アジア領域(60km 格子)の計算を 実施し、同領域における計算結果を対象に解析を実施した。解析項目は以下のとおりであ る。

大気質モデルの精度評価

- ・遠隔地モニタリング地点における O3 の時系列変化
- ・関東および九州地域における O3 および O3 前駆物質の時系列変化
- ・関東および九州地域を対象としたO₃、NO₂、POの精度評価
- ・関東地域における VOC の精度評価

他のモデルとの比較

・月平均値の比較

1.2. 大気質モデルの精度評価

1.2.1. 遠隔地モニタリング地点における O₃の時系列変化

小笠原、辺戸岬および隠岐の3地点について、 $2001\sim2010$ 年を対象とし、時間データを対象に経過図を作成した(図 $1-4\sim$ 図 1-33)。また、昼間の日平均値の月平均値の経過図を図 $1-1\sim$ 図 1-3に示した。

地点別の特徴について以下に整理した。再現性向上作業によって、隠岐などで相関係数 が良くなる傾向がみられたが、他の地点については大きな変化はみられなかった。

<小笠原>

・ 平成 27 年度の結果について、経過図では、平成 26 年度と同様の時間帯に濃度が高くなる事例が多くみられたが、低濃度域における変動は過小であった。これは、平成 26 年度計算の 2003~2010 年の境界値データとして、1 日 4 データ (MOZART) を用いているのに対して、平成 27 年度の境界値データとしては、月平均値 (CHASER) を用いていることによる。

<隠岐>

・ 平成 27 年度の結果について、平成 26 年度の計算と比較して、2002 年および 2007 年 夏期の濃度は低下し、測定値に近付いたが、2009 年および 2010 年は全体的に濃度が 上昇した(図 1-2)。ただし、2001~2010 年を通じて、相関係数の値は良くなった。

<辺戸>

・ 平成27年度の結果について、平成26年度と比較して濃度の変化は小さかった。

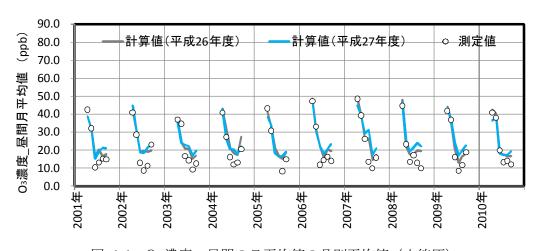


図 1-1 03濃度 昼間の日平均値の月別平均値(小笠原)

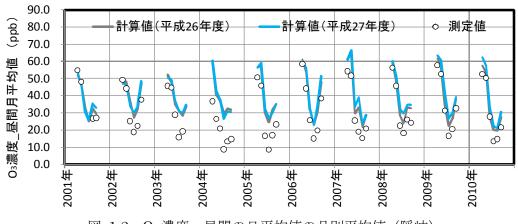


図 1-2 О3 濃度 昼間の日平均値の月別平均値(隠岐)

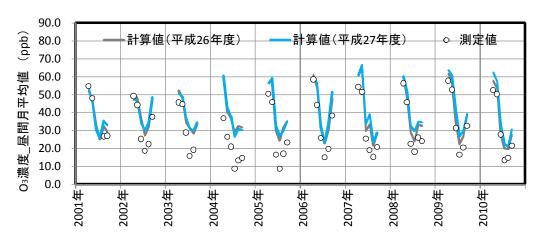
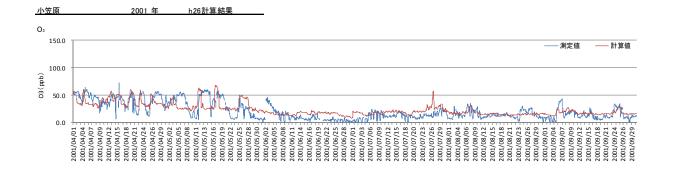
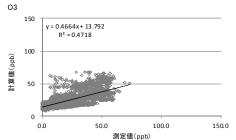
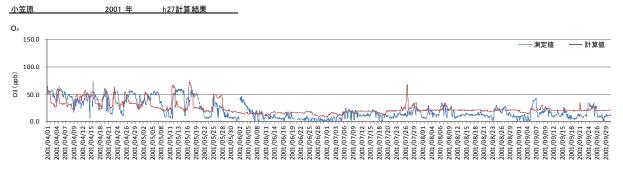


図 1-3 03濃度 昼間の日平均値の月別平均値(辺戸)







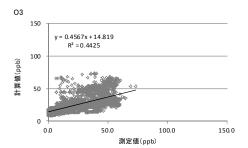
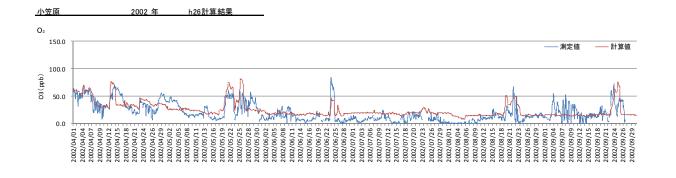
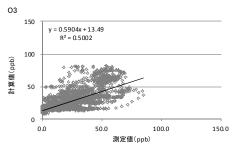
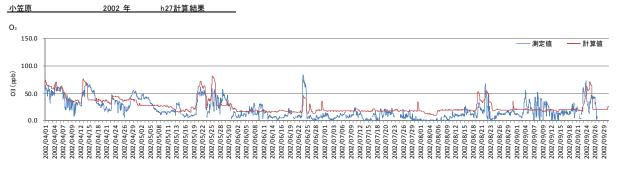


図 1-4 O3 濃度計算結果 (2001 年暖候期 60km 計算値 小笠原)







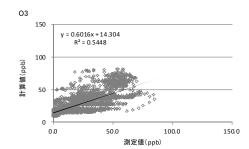
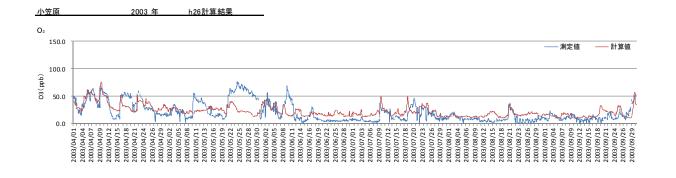
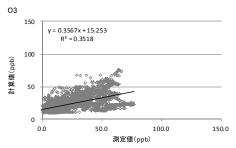
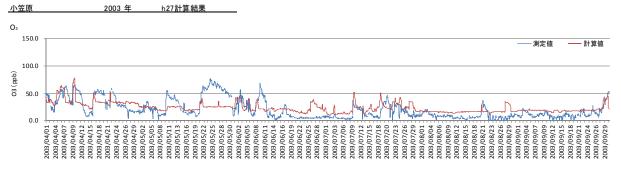


図 1-5 O3 濃度計算結果 (2002 年暖候期 60km 計算値 小笠原)







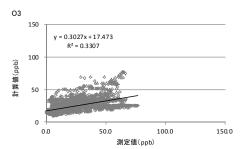
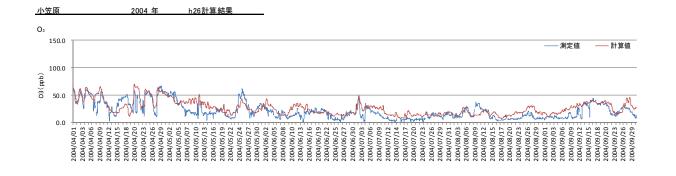
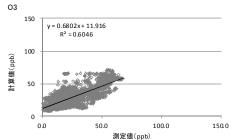
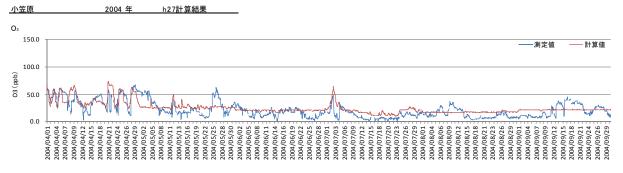


図 1-6 O3 濃度計算結果 (2003 年暖候期 60km 計算値 小笠原)







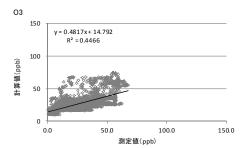
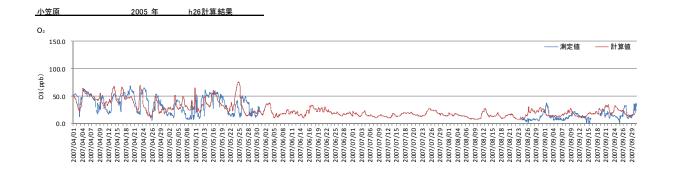
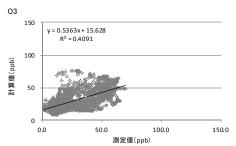
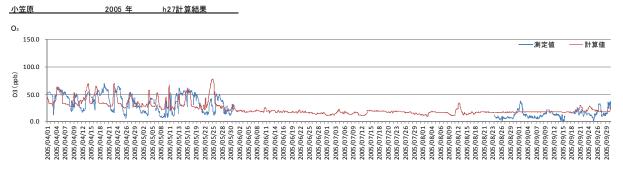


図 1-7 O3 濃度計算結果 (2004 年暖候期 60km 計算値 小笠原)







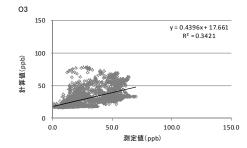
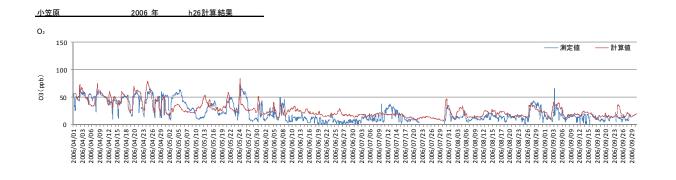
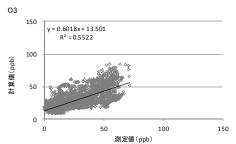
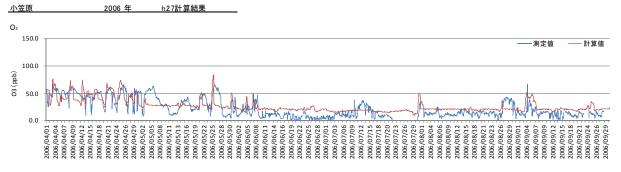


図 1-8 O3 濃度計算結果 (2005 年暖候期 60km 計算値 小笠原)







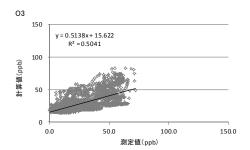


図 1-9 O3濃度計算結果(2006年暖候期 60km計算値 小笠原)

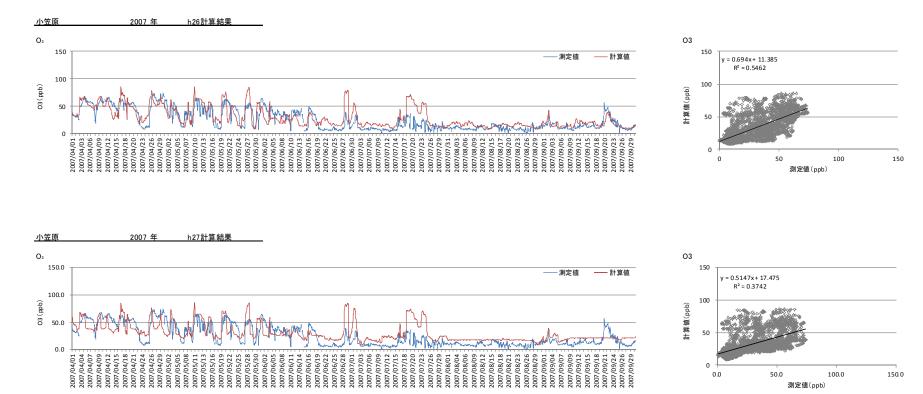
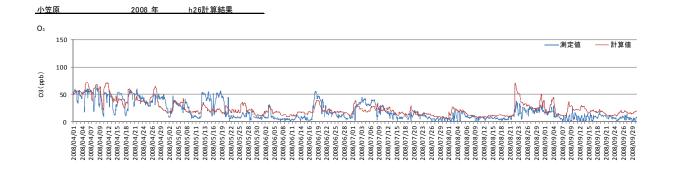
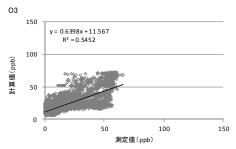
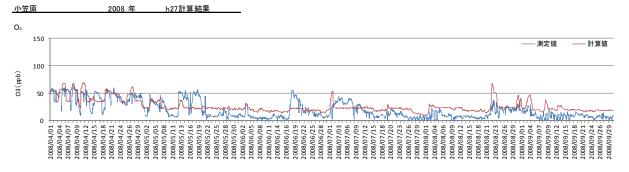


図 1-10 O3 濃度計算結果 (2007 年暖候期 60km 計算値 小笠原)







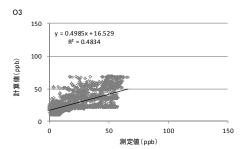


図 1-11 O₃ 濃度計算結果 (2008 年暖候期 60km 計算値 小笠原)

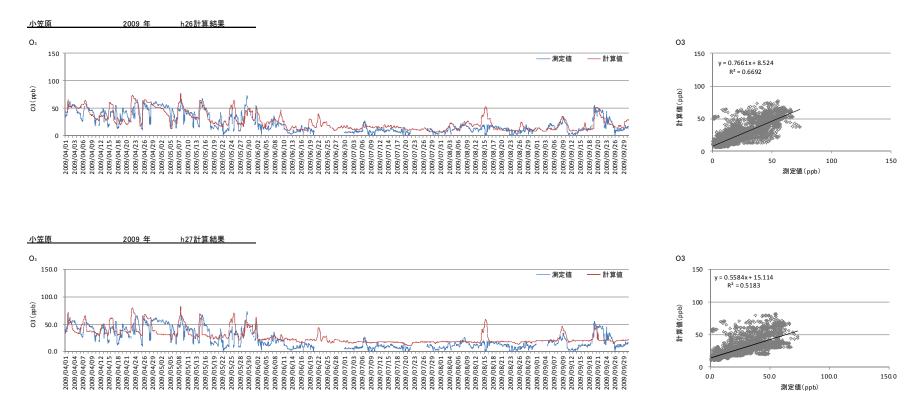
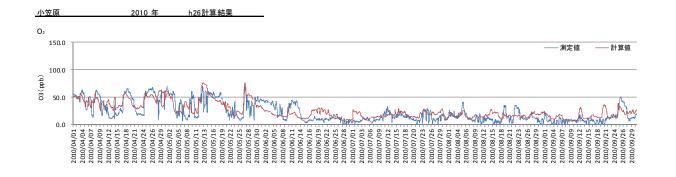
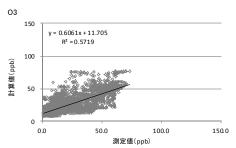
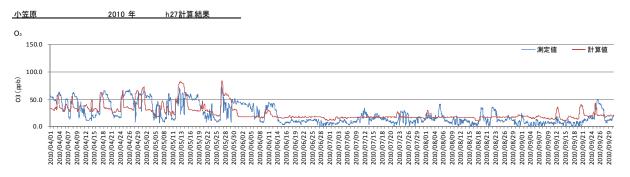


図 1-12 O3 濃度計算結果 (2009 年暖候期 60km 計算値 小笠原)







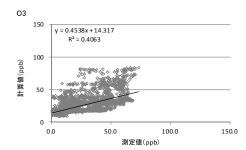
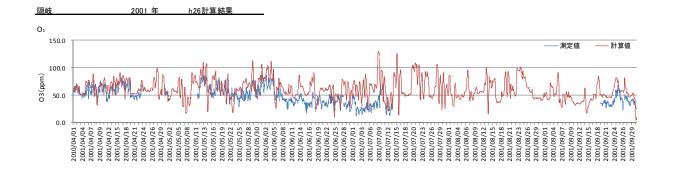
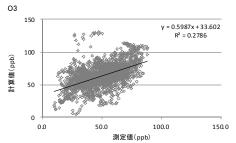
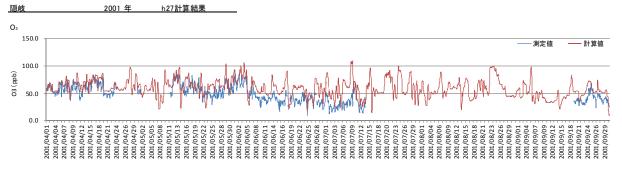


図 1-13 O3 濃度計算結果 (2010 年暖候期 60km 計算値 小笠原)







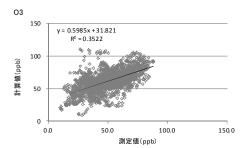
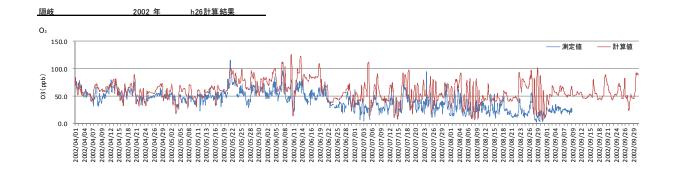
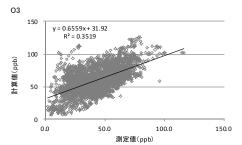
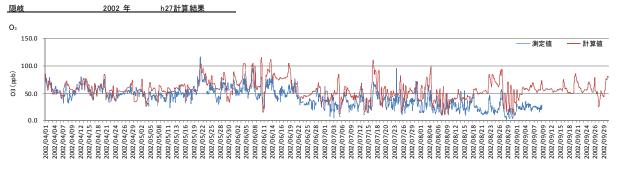


図 1-14 O3 濃度計算結果 (2001 年暖候期 60km 計算値 隠岐)







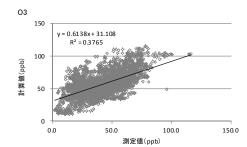
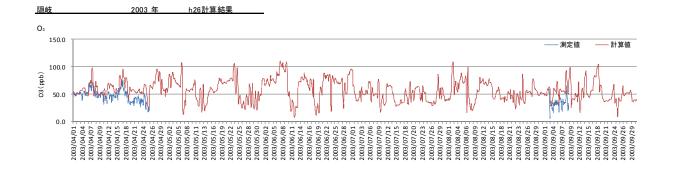
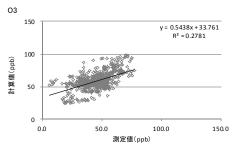
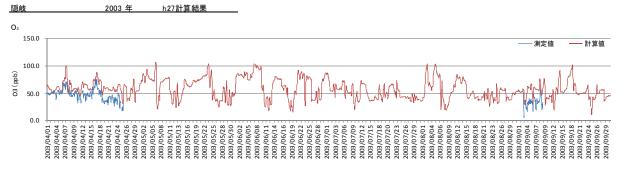


図 1-15 O3 濃度計算結果 (2002 年暖候期 60km 計算値 隠岐)







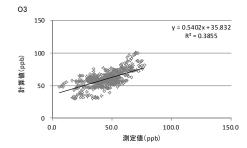
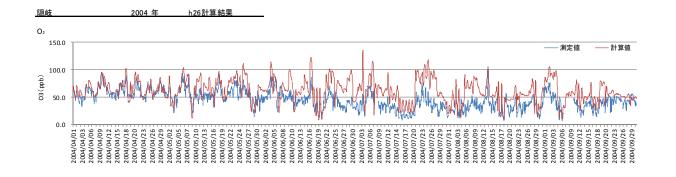
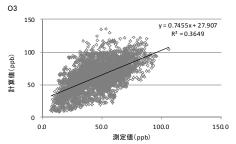
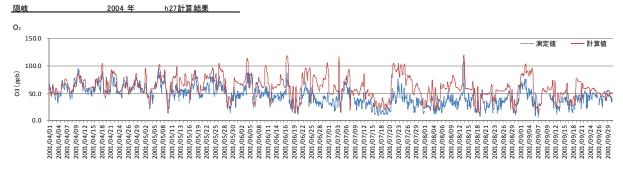


図 1-16 O3 濃度計算結果 (2003 年暖候期 60km 計算値 隠岐)







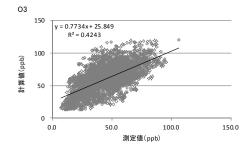
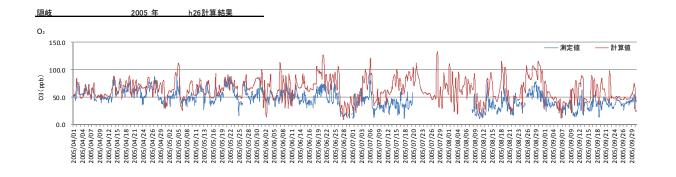
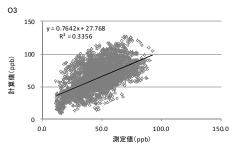
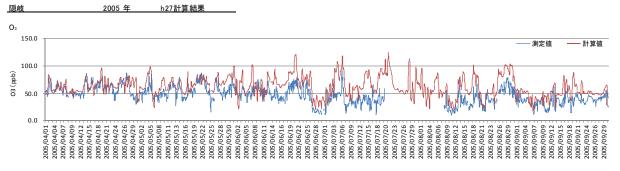


図 1-17 O3 濃度計算結果 (2004 年暖候期 60km 計算値 隠岐)







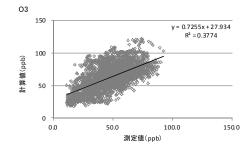
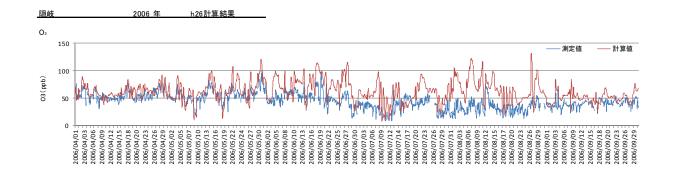
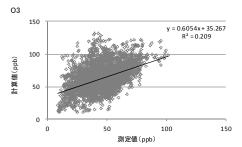
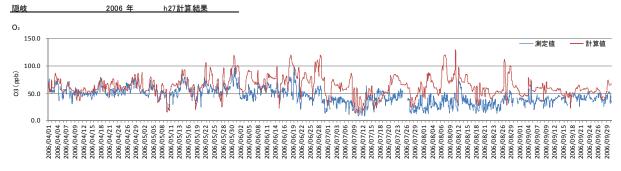


図 1-18 O3 濃度計算結果 (2005 年暖候期 60km 計算値 隠岐)







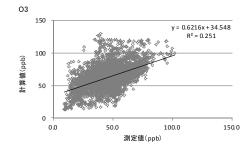
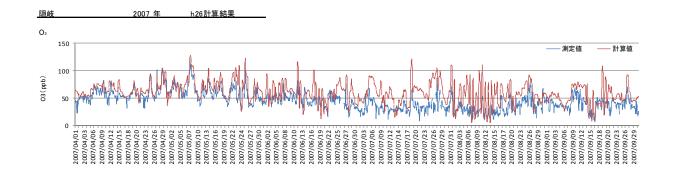
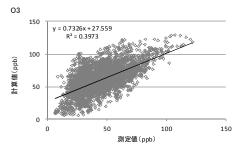
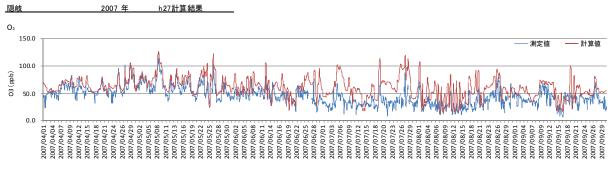


図 1-19 O3 濃度計算結果 (2006 年暖候期 60km 計算値 隠岐)







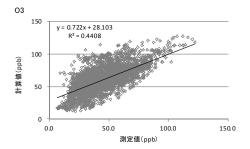


図 1-20 O3 濃度計算結果 (2007 年暖候期 60km 計算値 隠岐)